

第2回世論調査

住みごこちに

第2回目の世論調査を前回(昭和46年)と同じ時期の3月10日から24日までの2週間にわたって行ないました。調査は、市内に住んでいる人が、日常のくらしの中で、どのようなことを感じているかを調べたものです。対象は、選挙人名簿から無作為抽出で男女1500人と昭和47年度の市政モニター31人の合計1531人を対象に行ないました。

調査は富士市とのつながり、今後とくに力を入れてほしいものなど5項目にわたって行ないましたが、638通の回答がありました。それでは、今回の集計結果を前回の結果と比較しながらみてみましょう。

相変わらず多い公害に対する不満

■あなたの住んでいる地区で不満に思っていることがありますか

ない、ばい煙(スス)が多いが減っていることは、水質汚濁・大気汚染の公害対策がじよじよに成果を上げていることを反映しています。

住みごこちに対してなんらかの不満を持っている人は77.6%。前回は78%なのでほとんど同じで、4人中3人が不満を訴えています。地区別では富士78.6%、鷹岡77.6%、吉原77%の順となつています

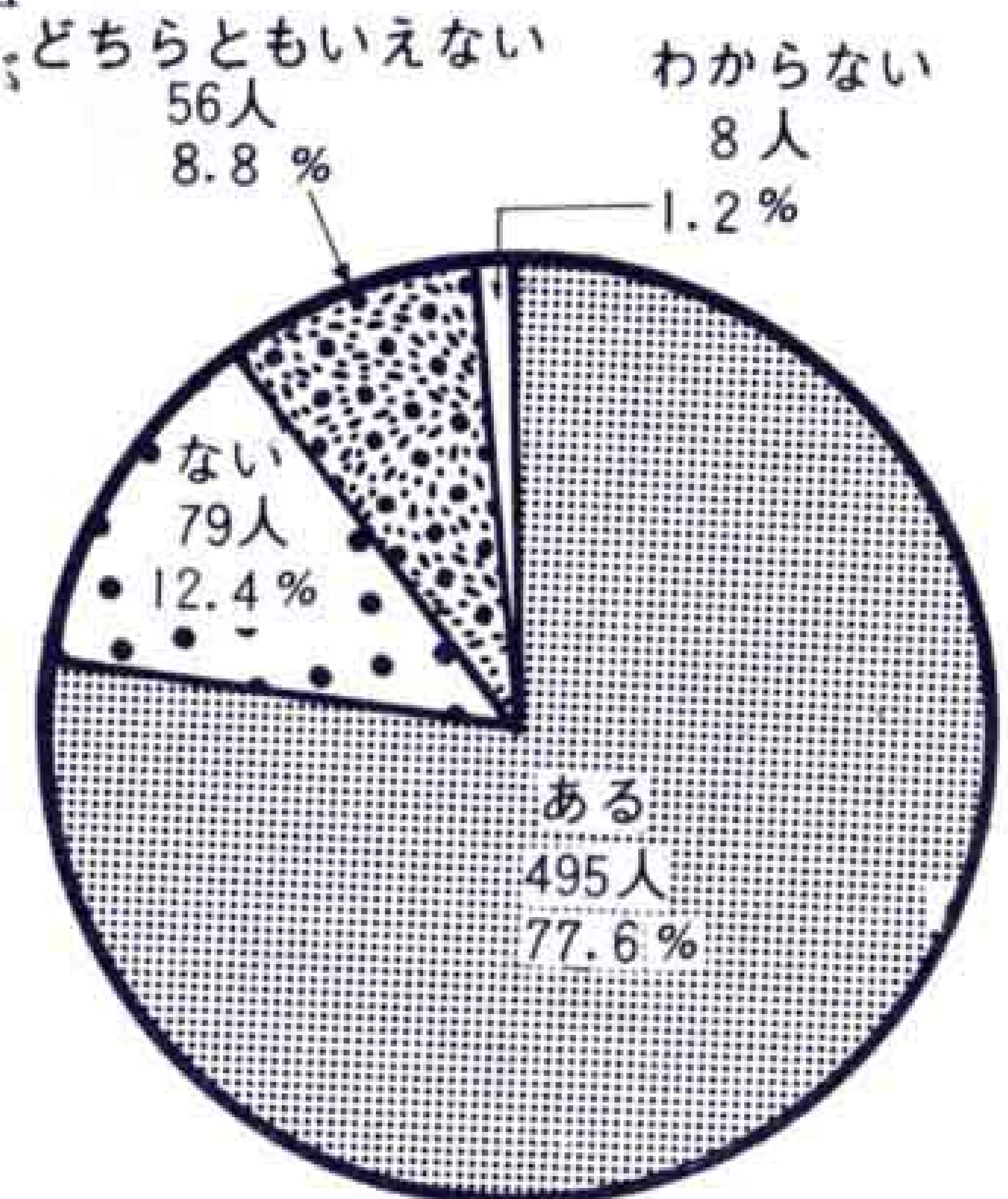
地区別では吉原と富士は前回と同じように、いやなおいがする、騒音が多い、蚊やハエが多いが上位を占めています。しかし、鷹岡地区の場合、交通の便が悪い9.9%、学校が遠い、買物が不便8.2%が上位を占めています。

このほか、大淵、岩松、田子浦も鷹岡地区と同じように買物の不便なことや交通の便の悪さを訴えています。

日ごろのくらし

不満の理由としては、前回と同じように、いやなおいがするが一番多く14% (前回は12.1%)、騒音が多い9.7% (8.2%)、蚊やハエが多い8.9% (8.8%)、川がきたない6.7% (8.4%)、ばい煙(スス)が多い5.7% (7.7%)などの順になつています。

前回の調査と同じように公害問題に対する不満が多く、公害によつて何らかの被害を受けていることがわかります。反面、川がきた

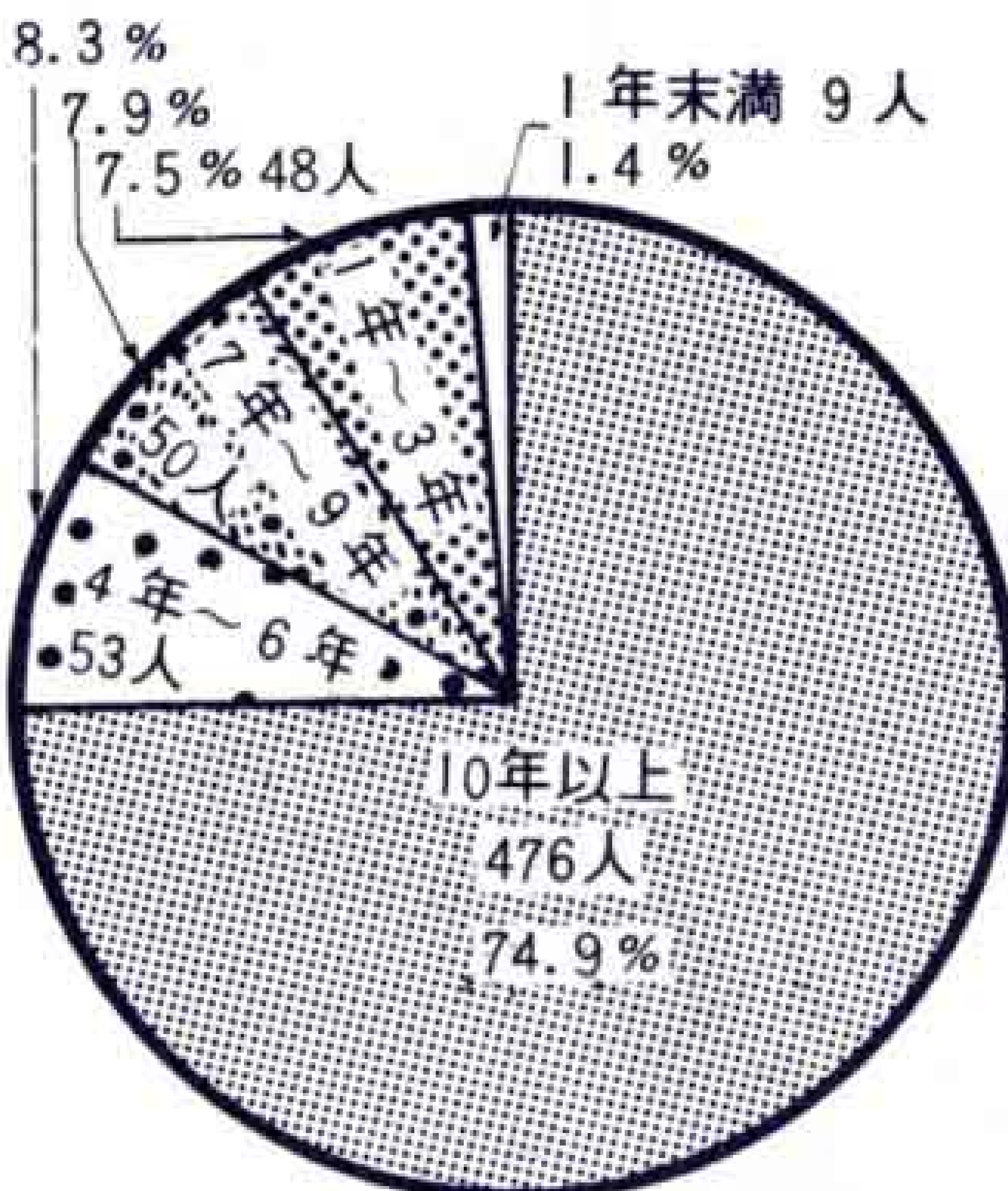


あなたと富士市

10年以上住んでいる人が75%

■富士市に住んで何年たちますか

10年以上住んでいる人が74.9%。前回の調査が78.3%でしたからわずかに減少しました



た。地区別の特色として、吉原地区の中で、1年未満は今泉だけで5.0%。また、1年~3年が6.9%、4年~6年が8.9%、7年~9年が14.9%、10年以上が64.3%と前回の結果にくらべ各年代に平均しています。これは、今泉に広見町などの新しい住宅地を含んでいるためと思われます。

富士地区の場合、田子浦地域で1年~3年が12.3%、4年~6年が14.3%と多くなつているのは、この地域にある会社の寮の影響が大きく現われています。

住み続けたい人が70%を占める

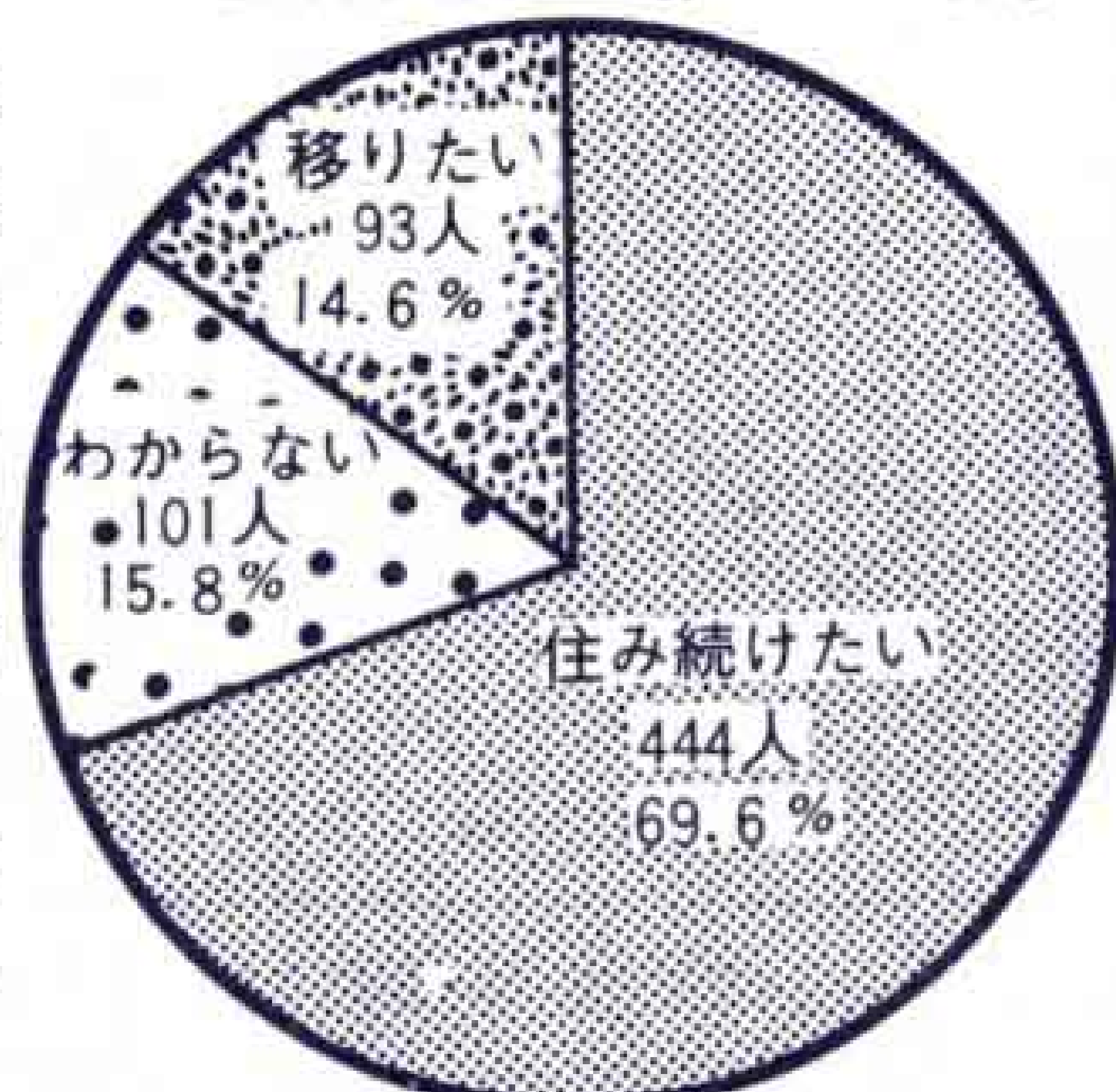
■これからも富士市に住んでいたいと思いますか

住み続けたいと答えた人は69.6%の444人。前回調査より3.4%減少し、移りたい、わからない人がすこし増えました。

移りたい、わからないと答えた人は、富士市に住んでからの年数が比較的短い人たちで、若い年代の勤め人や主婦に多くみられました。なお自営業や農林業に従事する人は、簡単に移住できないこともあつて、住み続けたいが約90%もありました。

移りたい理由として、環境が悪いから、暮らしにくいか

ら、が圧倒的に多く全体の約80%を占めています。前回に比べ暮らしにくいが大幅に増えましたが、理由としては物価高、交通の便、住宅難などが考えられます。このほか家庭の事情が6.3%、仕事のため5.3%、子どもの教育のため2.7%などとなつています



【公害による環境破かいに不満が】

不満を持っているが77^{パーセント}

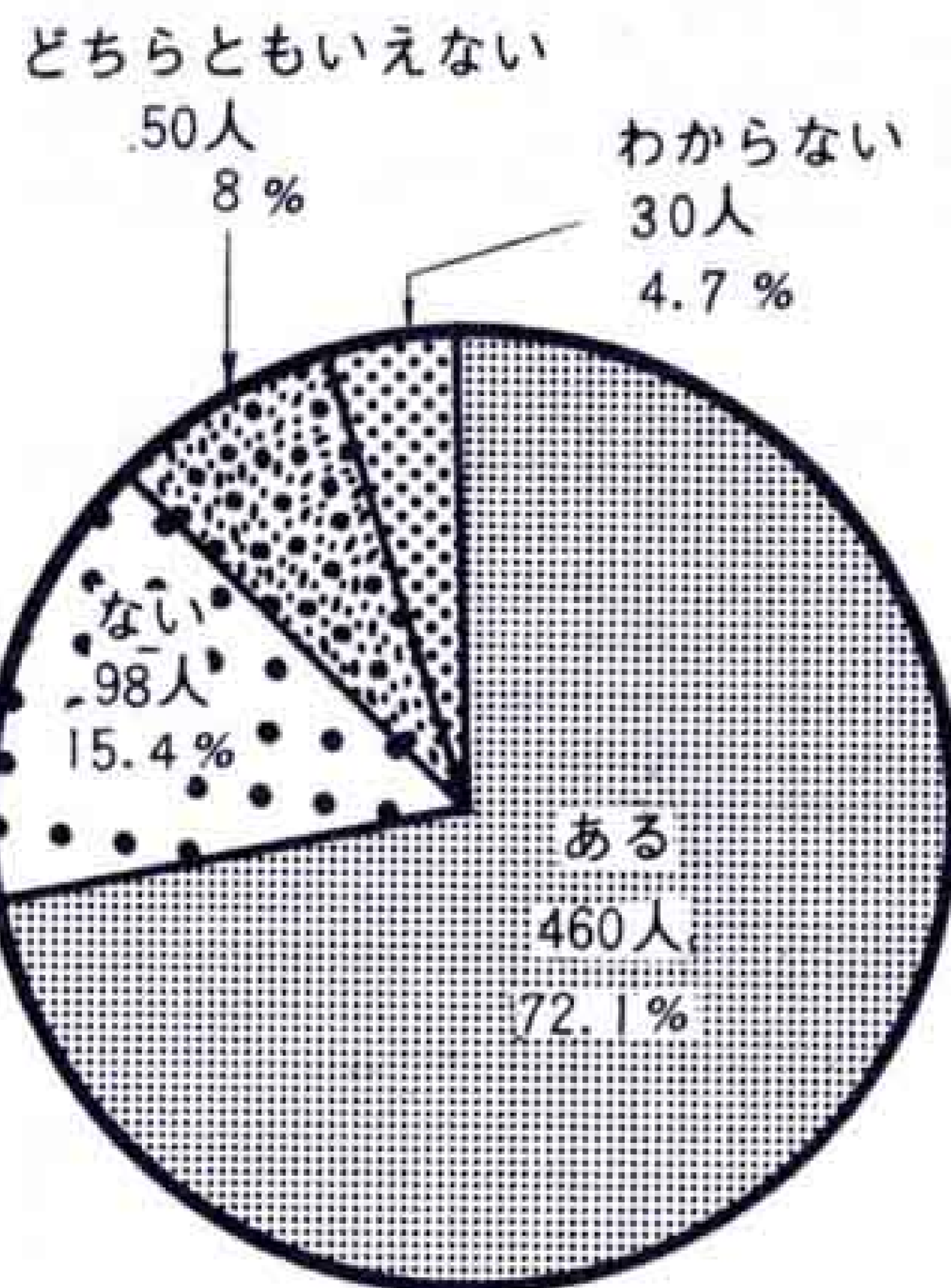
多い子どもの遊び場に対する要望

■あなたが住んでいる地区で施設がないため日ごろ不便を感じていますか

公共施設に対する不満は、前回の調査と変わらず72.1%に当たる460人が持っています。地区別には鷹岡が76.3%（前回83.8%）、吉原72.2%（67.5%）、富士70.3%（76.4%）と前回にくらべ今回は各地区とも平均しています。

不便を感じている施設については、前回の順位とほぼ同じです。順位は子どもの遊び場13.6%（前回12.7%）、病院11.3%（10%）、防犯灯9.1%（8.2%）、公園8%（8.1%）、下水道7.8%（7.7%）、駐車場7%（6.2%）、ポスト6.0%（6.1%）などとなっています。なか

でも病院については、公立病院が市内にひとつであることから、救急医療体制の不備が切実な問題として訴えられています。今後、人口はますます多くなるので、医療問題は施設の充実とともに大きな問題として、検討しなければなりません。

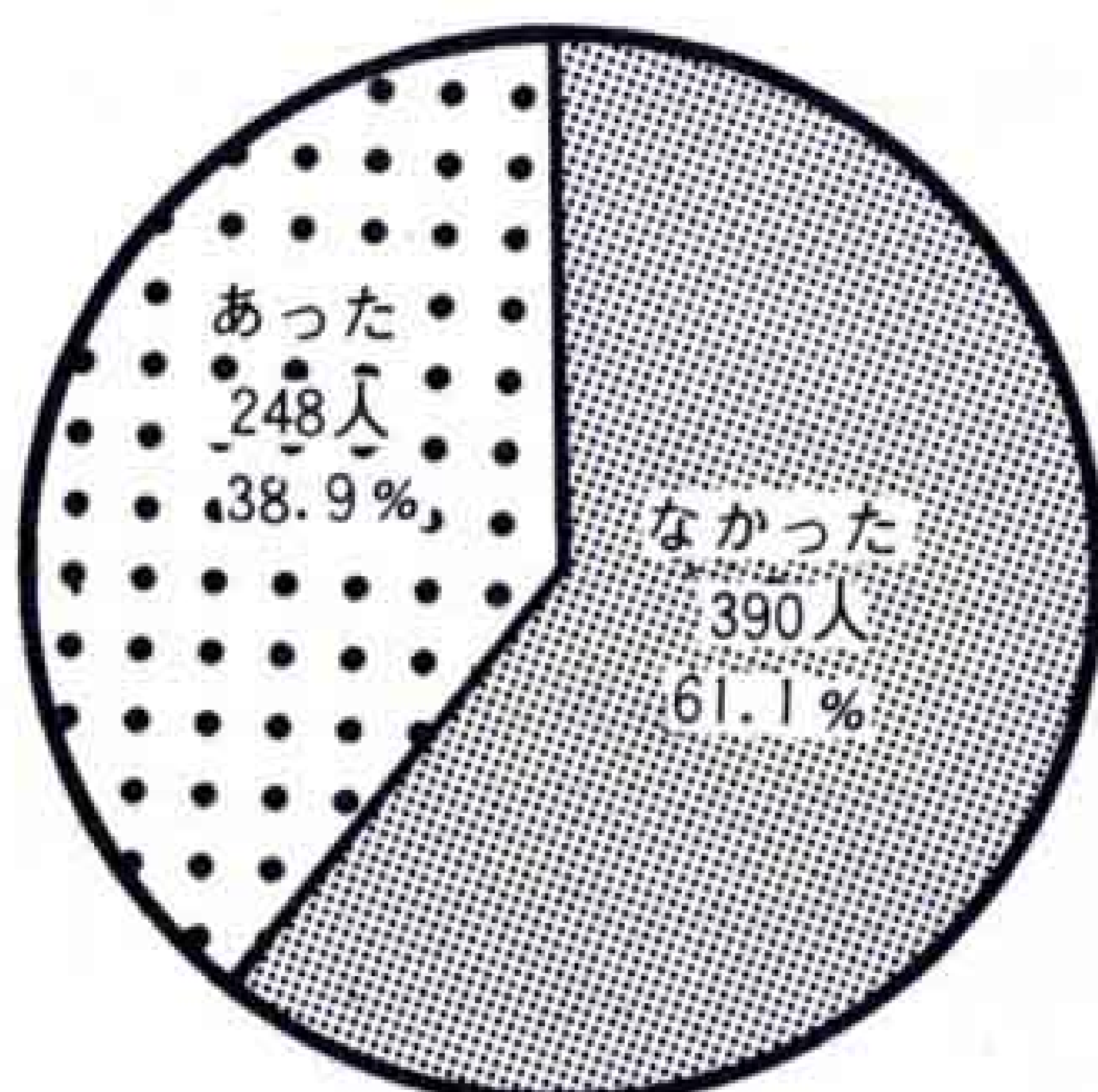


市役所への苦情

市政に対する不満は前回を下回る

■最近1年間に市役所へ投書したいような不満がありましたか

1年間に市役所に対する不満があつた人は、前回調査の42.8%を下回る38.9%でした。不満のあつた人がどのよう



な手段をとつたかをみると、前回調査と同じように何もしなかつた人が40%を越えています。また、前回調査に比べ直接市役所へ投書や電話をした人は増えましたが、市民相談室へ行ったり、市議会議員に話した人は減りました。

何もしなかつた人が118人。理由としては、いつでもだめだと思つたから54%（前回43.8%）、市も当然知つていと思つたから21.4%（26.9%）めんどろだから9.5%（15.5%）、どうしたらよいか知らなかつた6.4%（8.7%）などとなっています。

とくに力を入れてほしいもの

医療施設、福祉事業に対する要望が

■これから市役所がとくに力を入れて実施してほしいものは

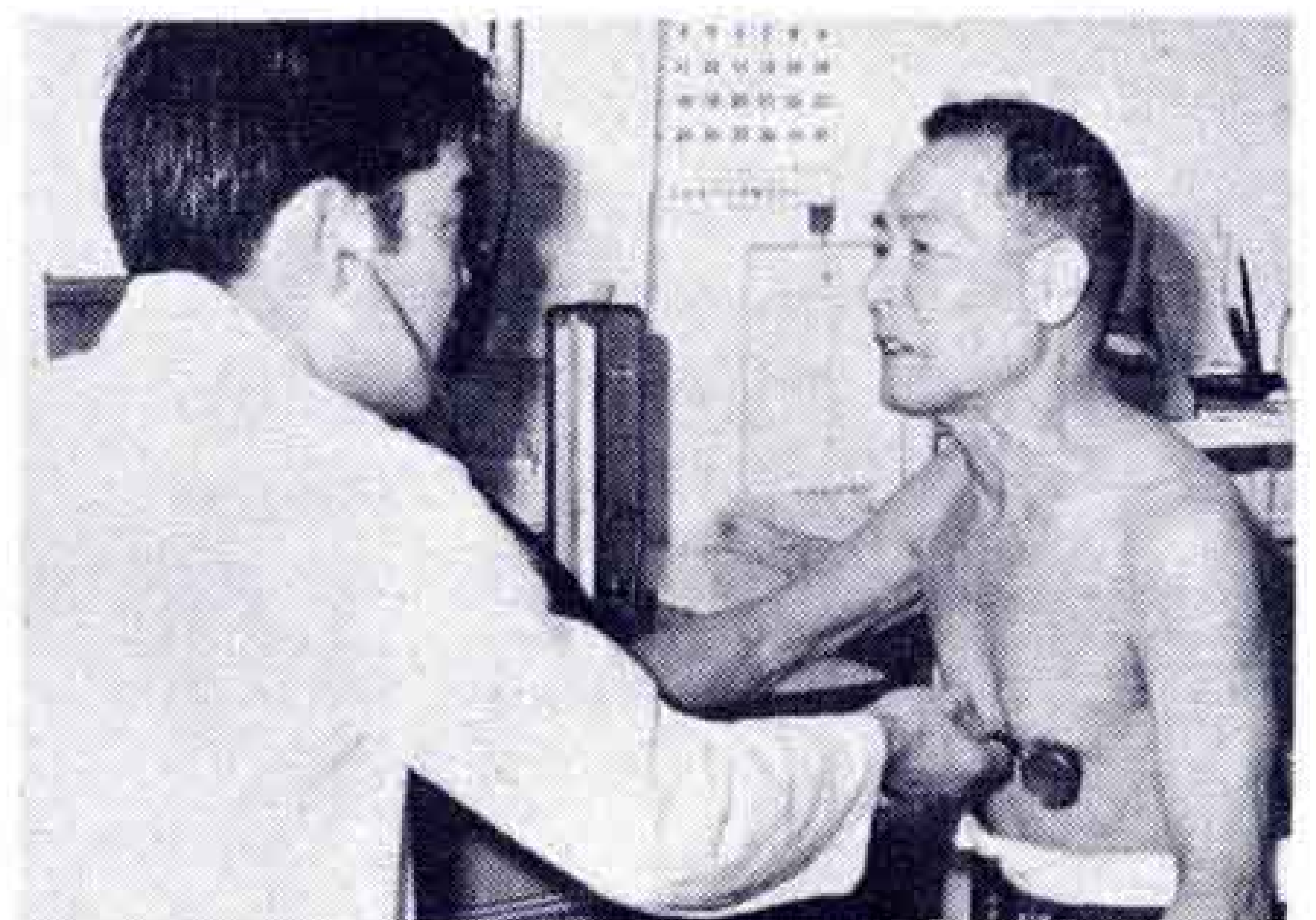
前回と同じように公害をなくすが圧倒的に多く第1位で20.4%。次いで、医療機関の充実をはかる11.2%、社会福祉事業に力を入れる8.3%、下水道事業に力を入れる7.8%、公園と緑地をふやす7.7%、交通事故を防ぐ7%、道路をよくする6.5%などとなっています。

公害対策についての要望は地域別にみても全部の地域で1位を占めています。

前回、交通事故を防ぐ、道路をよくす

るが2位と3位でしたが、今回は6位と7位に下がり、医療機関を充実する、社会福祉事業に力を入れる、がかわりに上位に出てきました。

このほか、下水道事業に力を入れる、公園と緑地をふやすなど都市環境の整備も多く住みやすい近代都市づくりに市民の強い願いがあります。



【医療施設の充実を望む声が…】

